

官報報告

丙 大正四年五月廿三日

立案 大正四年五月廿日
決裁 大正 年 月 日

宗秩寮總裁

宮内事務官

爵位課長

大臣

次官

正五位勳三等 堀田連太郎 旨
叙任ノ件

大正四年五月廿三日
宮内省

宮内省

めくれず

裏面白紙

丙
七
六
三

立案大正四年五月二十日
裁決大正四年八月八日

宗秩寮當直

當番書記官

正五位敷四等堀田連太郎
特旨ヲ以テ位一級被進
正五位敷四等堀田連太郎

叙從四位
右之通本日宣下相成候條此旨及傳達候

位記並辭令ハ追テ可及回送候也

大正四年十二月二十日

宗秩寮總裁

農商務大臣





正五位勳四等堀田連太郎特旨
叙位ノ件

右謹テ裁可ヲ仰ク

大正四年十二月二十日

内閣總理大臣伯爵大隈重信



内

閣

大正四年二月二十日

内閣書記官

内閣總理大臣了

内閣書記官長

正五位勲四等堀田連太郎ハ別紙農商務大臣稟請ノ通切續顯著ナル者ニ付特旨敍位ノ件上奏相成然ルヘシ

正五位勲四等堀田連太郎
特旨ヲ以テ位一級被進

正五位勲四等堀田連太郎

内閣

敍從四位

于二月二十日

附録三二

元農商務省鑛山技監正五位堀田連太郎

右、夙、理學ヲ修メ鑛物ニ関スル技術ヲ研究シ
専ラ力ヲ鑛業ノ發達進歩ニ致シ初メ三菱會社
ニ入りテ尾去澤面谷等ノ鑛山長トナリ居ルニ十
五年改米各關及清國ニ於テ鑛業視察ヲ為シ農
商務省就職後地質調査事務ニ從事シ又鑛山技監
ニ任セラレ在官中尾鑛山ノ鑛毒事件ヲ處理シ
功勞アリ製鐵所長官ニ得トナリ次テ鑛山局長ニ得
トナリ明治三十年依願免本官ノ後製鐵事業調

農 務 省

査ヲ囑託セラレ又農商工高等會議臨時議員仰
付ラレ明治三十六年製鐵所商議委員ヲ囑託セラレ
明治三十年より三十四年マテ三回衆議院議員ニ選
舉セラレタリ其他本邦ニ於テ鑛業家及技術家
ノ殆ント全部ヲ以テ組織セル日本鑛業會ニ於テ
明治三十四年以來幹議員トナリ又本年四月選ハレ
テ公會副會長ノ職ニアルカ如キ三十五年間公私鑛
業ノ為メ貢獻シタル所實ニ顯著ナルモノト認メ候處
目下病氣危篤ニ有之儀ニ付テハ特別ノ待遇ヲ
以テ此際任階進級相成度此致稟請候也

大正四年十二月二十日

農商務大臣河野廣



内閣總理大臣伯爵大隈重信殿

農
商
務
省

氏名

堀田連太郎

舊藩
舊氏名

東京府士族

生年月日
安政五年丙戌九月廿九日生

地産

年 號 月 日

官 記 辭 令 及 其 他 事 故 官 廳

明治四年

理學士

明治五年

三菱合資會社技師

明治九年

改米各國鑛業視察

明治十年

清國鑛山視察

明治十一年

鑛業ニ関スル事項調査囑託

明治十二年

任農商務省鑛山技監

明治十三年

叙高等官二等

明治十四年

二級俸下賜

明治十五年

鑛業ニ関スル事項調査手當トシテ金五百圓賞與ス

明治十六年

農商務省

明治十七年

農商務省

明治十八年

農商務省

明治十九年

農商務省

明治二十年

農商務省

明治二十一年

農商務省

明治二十二年

農商務省

明治二十三年

農商務省

明治二十四年

農商務省

明治二十五年

農商務省

明治二十六年

農商務省

明治二十七年

農商務省

明治二十八年

農商務省

明治二十九年

農商務省

明治三十年

農商務省

明治三十一年

農商務省

明治三十二年

農商務省

明治三十三年

農商務省

明治三十四年

農商務省

明治三十五年

農商務省

明治三十六年

農商務省

明治三十七年

農商務省

明治三十八年

農商務省

明治三十九年

農商務省

明治四十年

農商務省

明治四十一年

農商務省

明治四十二年

農商務省

明治四十三年

農商務省

明治四十四年

農商務省

明治四十五年

農商務省

明治四十六年

農商務省

明治四十七年

農商務省

明治四十八年

農商務省

明治四十九年

農商務省

明治五十年

農商務省

明治五十一年

農商務省

明治五十二年

農商務省

裏面白紙

丙
大正四年三月廿一日
七六三ノ二

一 正五位親王 堀田 進左郎

右位記並辭令及回送候條交付方御取計有之度候也

大正四年三月廿一日

宗秩寮總裁侯爵久我通久

敬商如左

馬

丙
七六三ノ二

宮内省